



平成28年 9月10日発行 No.15



## 会長就任のご挨拶

### 日本小児歯科学会の公益法人化に向けて 近畿地方会の展望

日本小児歯科学会近畿地方会会長

有田 憲司

平成27年10月25日の日本小児歯科学会近畿地方会総会において、佐伯克彦会長の後を受けて次期会長に決定していただき、平成28・29年度近畿地方会会長に就任いたしました。近畿地方会では久しぶりに大学からの会長就任となりますが、何卒よろしくご挨拶申し上げます。

さて、一般社団法人日本小児歯科学会は本年度中の公益法人格の取得を目指しており、内閣府に申請中です。公益法人になると何が得かという点、一つは、公益法人の名称はそのまま公益性の確保と社会的信頼性の向上へつながり、他の類似団体との大きな差別化となることです。もう一つ、これが公益社団法人の最大のメリットなのですが、寄附金をはじめとした税制優遇措置です。節税や幅広く寄附金を集めるには公益認定を受ける方が有利と言えます。

他方、一般社団法人では業務や運営に関する行政庁の監督がないため、毎年度の報告義務や立入検査もありませんでしたが、公益法人では法人運営に様々な規制が加わると同時に、行政庁の指導監督下に置かれ、会計処理や内部統制に関して継続的に事務的負担が掛かるようになるというデメリットも覚悟しなければなりません。

地方会に関しては、公益法人には予算や組織は一体化することが求められているため、公益法人格取得後は地方会や地方会会長という名称はなくなり、他の公益法人学会のように支部や支部長などの名称になるのではないかと考えられます。従って、近畿地方会会長としての私の最初で最後の仕事は、公益法人化に向かってスムーズに移行できるよう準備し、再構成していくことだと認識しています。

新会長としての抱負は、副会長の大阪大学大学院小児歯科学分野教授の仲野和彦先生と池尾小児歯科院長の池尾元三朗先生のお力添えのもと、近畿地方会の特色である大阪大学と大阪歯科大学の2大学と小児歯科開業医の先生方とのトロイカ体制を継続・強化することによって、地域小児歯科連携および小児医療関連団体との連携を強化させ、また、近畿地方会におけるアカデミックな研究活動の実施を目指します。

近畿地区の小児の歯科医療、保健・福祉の発展に寄与するために、地方会会長として誠心誠意その責務に邁進いたしますので、会員の皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室のご紹介

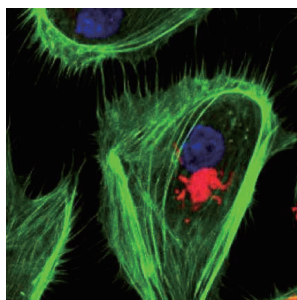


小児歯科学教室のスタッフ集合写真

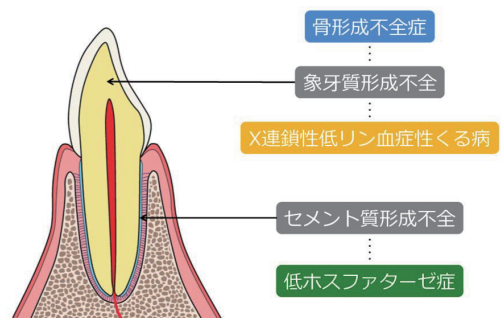
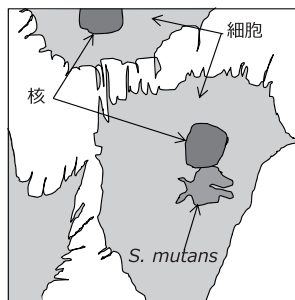
当教室は、昭和39年7月に大阪大学歯学部附属病院内に発足した「小児歯科診療室（初代室長：吉田定宏先生）」を母体としています。昭和46年には祖父江鎮雄先生が二代目の室長となり、昭和50年11月には診療科に昇格しました。そして、昭和51年5月に「大阪大学歯学部小児歯科学講座」として開講し、昭和52年8月には、祖父江鎮雄先生が初代教授に就任しました。その後、大学院重点化政策に伴って、平成12年4月には「大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座（小児歯科学教室）」という名称に変更されました。平成14年8月には二代目の教授として大嶋 隆先生が就任され、平成26年8月からは三代目の教授として仲野和彦先生が引き継がれています。現在、仲野教授のもとで、常勤スタッフ17名、非常勤スタッフ5名が、診療・研究・教育活動に精力的に取り組んでいます。

診療面では、近隣の開業歯科医院を中心にご紹介いただく多数の非協力児や全身疾患を有する小児に対して、安全で確実な治療を提供できるよう日々努めています。また、当教室は大阪大学医学部附属病院小児科と深く連携し、小児科から当科に様々な全身疾患を有する小児の歯科治療や歯科的な管理を依頼されたり、当科から小児科に全身疾患が疑われる小児の精査を依頼したりしています。特に、小児科の大菌恵一教授は、骨系統疾患に関する臨床および研究に深く精通されていることから、当科でも骨形成不全症、X連鎖性低リン血症性くる病および低ホスファターゼ症といった骨系統疾患を扱う「骨系統疾患外来」を近年立ち上げ、医科歯科連携による専門的なアプローチで口腔管理を進めています。さらに、国立循環器病研究センターが隣接しているため、多くの心疾患を有する小児の歯科治療を行っています。最近では「カスタムメイドな小児歯科診療」を念頭に、矯正科や口腔外科等の関連各科との綿密な連携を取り、高度な歯科治療の提供に努めています。

研究面では、主要なう蝕病原性細菌として知られる *Streptococcus mutans* の病原性に関する



特殊な構造を有する *Streptococcus mutans* (赤色) は血管内皮細胞 (緑色) への付着侵入能を有する (共焦点レーザー顕微鏡像)。



骨疾患ごとに特徴的な歯科の所見

研究が古くから進められてきました。現在、う蝕の病原メカニズムだけでなく、「*S. mutans* の及ぼす全身疾患に関する研究」を発展させています。そのきっかけとなったのは、感染性心内膜炎患者血液より分離された *S. mutans* の性状の分析についての研究です。感染性心内膜炎は、口腔レンサ球菌が主要な原因菌であることから、歯科領域で最もよく知られている全身疾患の一つです。先天性心疾患を持って生まれる新生児は、約100人に1人ほどと言われていますが、ある種の先天性心疾患が存在すると、感染性心内膜炎を発症するリスクが高くなります。そのため、心疾患を有する患者に観血的な歯科治療を行う際には、抗生物質の術前投与が推奨されています。当教室では、約10年前に特殊な表層構造を持つ *S. mutans* が存在することを明らかにしました。これらの特殊な *S. mutans* は、心疾患患者の心臓弁や口腔内から健常者よりも高い頻度で検出されるとともに、高い病原性を有することを様々なアプローチからの研究により明らかにしました。最近になって、このような特殊な *S. mutans* は循環器疾患だけでなく、脳血管系、消化器系などの様々な全身疾患の悪化にも関わっている可能性が明らかになってきています。現在、それらの病原メカニズムを追究するとともに、他の臓器への影響についても検討しているところです。また、「骨系統疾患患児における歯科所見とその病原メカニズムの解明」、「ヘリコバクター・ピロリ菌の小児口腔からの検出」などの小児歯科領域に関わる新たなテーマについても研究を進めていきたいと考えています。

教育面では、学部学生には、「健全な永久歯列を完成させる」ことを目的として、永久歯列が完成するまでの口腔および全身で生じる著しい変化や、発育過程で生じうる様々な歯科疾患についてきめ細やかな指導を行っています。成長期にある変化を正しく理解することは、大人の患者に対する以上に慎重な診査と治療計画が必要となります。反面、成長期にある小児の歯科治療はとてもやりがいがあり実りのあるものだと考えており、そのような小児歯科の魅力を伝えられるような教育を心がけています。このような教育活動により、小児歯科医の増加や、小児歯科を標榜しながら十分な小児歯科診療を行うことのできていない歯科医師の減少へと繋がっていくことを強く願っています。小児歯科医を志して入局してきた医局員に対しては、専門医を取得できる知識と技能を養成しています。大学院生に対しては、専門医取得に加え、臨床に関連した研究を行うことで、理論的かつ科学的な思考を持った小児歯科医を養成していきたいと考え実践しています。また、研究成果を国際学会や学術論文に発表することで、研究成果を世界に発信していくことができる人材の育成に努めています。

疾患の早期発見、早期治療はどのような領域の医療にも共通することだと思いますが、成長期にあり著しい変化に見舞われる小児期の歯科治療においては、早期に問題を発見し、正しい時期に適切な治療を施すことが特に重要だと思われれます。そのためには、地方会に所属する先生方との連携を基軸としたネットワークの活用が、小児歯科領域における疾患の早期発見および治療につながるものと考えています。今後も教室員一丸となって、小児歯科および近畿地方会の発展のために精一杯努力する所存でございますので、ご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責：野村良太)

平成27年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 会計報告

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥	834,000
	第33回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
	預金利息	¥	51
	合 計①	¥	834,051
支 出	通信会議費	¥	49,808
	第34回近畿地方会大会 援助金 + 振込手数料	¥	500,432
	ニュースレター14号経費 + 振込手数料	¥	178,200
	第35回近畿地方会大会 準備金 + 振込手数料	¥	105,611
	合 計②	¥	834,051
	合計① - 合計②	¥	0
	通信会議費 詳細	¥	42,228
	会議費	¥	7,580
	事務費	¥	7,580
	合 計	¥	49,808

特別会計

収 入	普通預金	¥	1,382,714
	スーパー定期	¥	500,000
	預金利息	¥	312
	合 計	¥	1,883,026
支 出	なし	¥	0
繰 越	普通預金	¥	1,383,026
	スーパー定期	¥	500,000
	合 計	¥	1,883,026

平成28年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 予算(案)

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥	830,000
	第34回近畿地方会大会 援助金残金	¥	0
	預金利息	¥	50
	合 計	¥	830,050
支 出	通信会議費	¥	55,000
	第35回近畿地方会大会 援助金	¥	500,000
	ニュースレター15号経費	¥	200,000
	第36回近畿地方会大会 準備金	¥	75,050
	合 計	¥	830,050

特別会計

収 入	普通預金	¥	1,383,026
	スーパー定期	¥	500,000
	預金利息	¥	300
	合 計	¥	1,883,326
支 出	なし	¥	0

※残金は来年度へ繰り越し

## 第35回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会のご案内

日 時：平成28年10月16日（日） 9：30～16：30（9：00 受付開始）

会 場：千里ライフサイエンスセンター

[北大阪急行（地下鉄御堂筋線乗り入れ）千里中央駅北出口すぐ]

大 会 長：仲野 和彦（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室教授）

準備委員長：野村 良太（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室准教授）

大会事務局：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8 大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室内

TEL：06-6879-2962 FAX：06-6879-2965 E-mail：furuya-m@office.osaka-u.ac.jp

参 加 費：歯科医師・・・・・・・・・・5,000円

コ・デンタルスタッフ・・・・3,000円

懇親会・・・・・・・・・・3,000円（千里ライフサイエンスセンター 6階）

テ ー マ：『カスタムメイドな小児歯科医療を見据えて』

内 容：(1) 平成28年度総会

(2) 特別講演 『これからの小児歯科へのメッセージ』

祖父江 鎮雄 先生（大阪大学名誉教授）

(3) 教育講演 「各領域の最前線に立つ専門医から小児歯科医へのメッセージ」

① 小児歯科医が持つべき口腔外科の知識

伊藤 章 先生（大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔外科学教室助教）

② 小児歯科医が持つべき矯正の知識

原口 誠自 先生（大阪大学大学院歯学研究科顎顔面矯正学教室臨床准教授）

③ 小児歯科医が持つべき放射線の知識

柿本 直也 先生（大阪大学歯学部附属病院放射線科講師）

(4) 歯科衛生士セミナー 「効果的な衛生指導の実践のために見直す基礎知識」

① 基礎から見直す齲蝕の知識

仲野 道代 先生（岡山大学大学院医歯薬総合研究科小児歯科学分野教授）

② 基礎から見直す歯周疾患の知識

稲葉 裕明 先生（岡山大学大学院医歯薬総合研究科小児歯科学分野准教授）

③ 基礎から見直す予防歯科の知識

久保庭 雅恵 先生（大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学教室准教授）

(5) 一般発表（展示発表）

(6) 専門医・認定医・認定歯科衛生士更新発表（展示発表）

(7) 企業展示

# 平成28年度 日本小児歯科学会地方会開催日程

## ◆北日本地方会

### 第34回北日本地方会大会および総会

大会長：関本 恒夫

準備委員長：島田 路征

大会テーマ：「小児歯科臨床の新たな視点を求めて」

日時：10月9日（日）9：00～14：50

会場：日本歯科大学新潟生命歯学部

大会内容：1) 特別講演

「児童虐待の現状と課題について」～歯科医療従事者の皆さまにお願いしたいこと～

講師 田代 健一先生（新潟県中央福祉相談センター所長）

2) 教育講演

「近年の子どもの生活・体力・学力の諸問題とその対策・取り組み例」

講師 小澤 治夫先生（東海大学体育学部体育科教授）

3) ランチョンセミナー

①ランチョンセミナー1

「舌圧の検査とトレーニングが創る健口社会」

講師 津賀 一弘先生（広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授）

②ランチョンセミナー2

「小児歯科と予防用材料」

講師 福本 敏先生（東北大学小児発達歯科学分野教授）

4) ポスター発表

①一般演題発表

②専門医・認定医資格更新ケースプレゼンテーション

③認定歯科衛生士資格申請および更新ケースプレゼンテーション

5) 総会

6) 商業展示

懇親会：平成28年10月9日（日）18：30～

日本歯科大学新潟生命歯学部GAKUSYOKU

専門医セミナー併催 15：00～18：10

「フィンランド流育児支援とは－ゆとりある子育てを考える－」

講師 黒木 淳子先生（日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科学講座准教授）

「3歳までの食事で決まる成人からの健康－離乳食と栄養成分について－」

講師 中野 智子先生（日本歯科大学新潟生命歯学部食育健康科学講座客員教授  
浜理薬品工業株式会社顧問）

認定歯科衛生士セミナー併催 15：00～16：30

「子どもの食事情について」

講師 小松崎 明先生（日本歯科大学新潟生命歯学部口腔衛生学講座教授）

大会事務局：〒951-8580 新潟市中央区浜湖町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科講座

◆関東地方会

## ジョイント4ワークショップ2016開催

日本小児歯科学会関東地方会、日本障害者歯科学会、口腔衛生関東地方研究会、日本歯科衛生学会の4学会が合同で開催します。

テーマ：『「気になる子ども」への関わり方を考える - 私達が地域でできること -』

日時：平成28年7月31日（日）9時30分～16時30分

会場：昭和大学旗の台キャンパス1号館 参加費：3,000円

お申込み先：昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門

※ジョイント4の詳細は、関東地方会ホームページ <http://www.jspd-kanto.jp/> をご参照ください。

## 第31回関東地方会大会および総会

メインテーマ：「子どもたちに生き甲斐を、子育てにやり甲斐を」

日時：平成28年10月2日（日）8：30（受付開始）～17：00

会場：コラニー文化ホール（山梨県甲府市）

大会長：岩下 智

準備委員長：藤岡 万里

大会内容：1. 特別講演Ⅰ

「生き甲斐は、五感で入力されたおいしさから始まる」

- 甲府発味覚（五感）教育のすすめ -

武井 啓一先生（甲府市歯科医師会会長）

特別講演Ⅱ

「子どもが育つ、子どもと育つ - 食事を通して育むこと -」

向井 美恵先生（附和大学名誉教授）

2. 臨床講演Ⅰ

「これで安心、外傷への対応」

宮新美智世先生（東京医科歯科大学大学院小児歯科学分野准教授）

臨床講演Ⅱ

「小児の口腔腫瘍の臨床診断と治療」

河奈 裕正先生（慶應義塾大学歯科・口腔外科准教授）

3. 歯科衛生士セミナー（認定歯科衛生士必須研修セミナー）

「読み聞かせは『心の脳』に届く」

- 脳科学からみた読み聞かせ：心豊かな子を育て、親子の絆をつくる -

泰羅 雅登先生（東京医科歯科大学大学院認知神経生物分野教授）

4. 若き研究者の集い

鶴見大学・日本歯科大学・昭和大学・明海大学

5. 特別企画 9大学ポスター

「最近の各大学の診療実態（最近の小児患者の動向を含めて）など外来の特色」

～医療連携や開業医連携について～

6. 市民公開講座

「自閉症の僕の七転び八起き & 和が子の可能性を信じる子育て」

東田 直樹氏 東田 美紀氏

7. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医資格更新用プレゼンテーション

3) 認定歯科衛生士資格申請・更新用プレゼンテーション

8. 商業展示

9. 懇親会：コラニー文化ホール内レストラン

連絡先：日本小児歯科学会関東地方会 第31回大会・総会 準備委員会事務局

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

E-mail：jspd.kantoh31@gmail.com（お問い合わせはメールでお願いいたします）

昭和大学商学部小児成育歯科学講座内

準備委員長：藤岡 万里

◆中部地方会

## 第35回中部地方会大会および総会

大会テーマ：「さわやか信州で考える小児歯科の未来」

会期：平成28年10月30日（日）9：00～16：00（受付開始8：40）

会場：松本歯科大学7階講堂および図書館

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780番地 TEL：0263-52-3100（代表）

大会長：大須賀 直人

準備委員長：正村 正仁

大会内容：1. 特別講演

小児の遺伝性・先天性疾患 ～診断、治療、家族支援～

古庄 知己先生（信州大学医学部附属病院遺伝子診療部／信州大学医学部遺伝医学・  
予防医学教室准教授）

2. 教育講演

1) 健康咀嚼は子供から –いま何が必要か？–

増田 裕次先生（松本歯科大学総合歯科医学研究所顎口腔機能制御学部門教授）

2) 健康咀嚼は子供から –教育現場の役割–

安富 和子先生（飯田女子短期大学教授）

3. 歯科衛生士セミナー

医療チームにおける歯科衛生士の役割—一般開業医での臨床で必要なこと—

岩井 理子先生（東京ステーション歯科クリニック歯科衛生士主任）

4. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医、認定歯科衛生士資格更新ケースプレゼンテーション

5. 総会



6. 商業展示

7. 懇親会：平成28年10月29日（土）18：00～20：00 松本歯科大学 食堂  
16：00～18：00 幹事会

連絡先：〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780番地 松本歯科大学小児歯科学講座内  
中部地方会大会事務局 準備委員長 正村 正仁  
TEL：0263-51-2106 E-mail：chubu35@po.mdu.ac.jp

参加費：参加費登録費 歯科医師 5,000円（事前登録 4,000円）  
歯科衛生士 3,000円（事前登録 2,000円）  
懇親会参加費 歯科医師 6,000円（事前登録 5,000円）  
歯科衛生士 5,000円（事前登録 4,000円）

## ◆中四国地方会

### 第35回中四国地方会大会および総会

テーマ：「小児歯科から社会への発信」

会期：平成28年11月6日（日）9：30～16：30

会場：アークホテル岡山 〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2-6-1

大会長：壺内 智郎

準備委員長：平川 貴之

大会内容：1. 特別講演

「子どもの虐待の根絶を目指して－歯科界の新たな役割－」

花田 洋一先生（奥羽大学歯学部生体構造学講座法歯学）

2. 教育講演

「小児の歯・口腔の健康を守るために－こんなに役立つスポーツ歯科知識－」

竹内 正敏先生（タケウチ歯科クリニック）

「自閉症スペクトラム障害児が安心して歯科診療を受けるために」

堀 雅彦先生（旭川荘療育・医療センター歯科）

3. 歯科衛生士セミナー

「健康長寿時代。だから今こそ小児歯科－小児歯科認定歯科衛生士とともに語る－」

仲井 雪絵先生（静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科）

上込みちる先生（日本小児歯科学会認定歯科衛生士）

4. 一般発表：展示発表のみ

5. 専門医・認定医更新展示発表

6. 商業展示

連絡先：〒700-8558 岡山市北区鹿山町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野内

第35回日本小児歯科学会中四国地方会事務局

TEL：086-235-6717 FAX：086-235-6719

◆九州地方会

## 第34回九州地方会大会および総会

メインテーマ：「宮崎からこどもの未来につなごう！～いま、小児歯科に求められるもの～」

日 時：平成28年10月30日（日）

会 場：宮崎県宮崎市民プラザ

〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号 TEL 0985-24-1008 FAX 0985-29-2244

大 会 長：井上浩一郎（いのうえ小児歯科 宮崎県）

準備委員長：山崎 要一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野）

同 補 佐：佐藤 秀夫（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野）

大会内容：1. 特別講演

I 「息育のすすめ ～口は食物と空気の通り道～」

今井 一彰先生（みらいクリニック院長）

II 「摂食嚥下機能に遅れや障害のある子どもへの支援」

田村 文誉先生（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック口腔リハビリテーション科科长）

2. シンポジウム

テーマ「小児の在宅医療を考える」

I 「在宅療養児の食の支援を考える～多職種連携の重要性～」

渡邊 理恵先生（医療法人天翔会看護部長 鹿児島こども訪問看護ステーション管理者）

II 「小児の在宅医療～支える私が支えから学んだこと～」

西国領俊子先生（西国領歯科医院副院長）

III 「医師の立場から」

澤田 一美先生（宮崎県立こども療育センター小児科）

3. 歯科衛生士セミナー

「こどもたちを糖尿病から守る歯科衛生士～チェアサイドに必要な糖代謝異常の知識～」

西田 互先生（にしだわたる糖尿病内科院長）

4. ランチョンセミナー

「口呼吸と口唇閉鎖～りっぷるくんの臨床～」

齊藤 一誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野准教授）

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医・認定歯科衛生士更新用プレゼンテーション

6. 懇親会：宮崎観光ホテル（10月29日）

会 費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円 懇親会費：5,000円

懇親会会場：宮崎観光ホテル 東館2F「ダイヤモンドジュ」 10月29日（土）19時

〒880-8512 宮崎市松山1-1-1 TEL：0985-27-1212

託 児 室：委託先：テクノコーポレーション

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-10-5F TEL：0120-8000-29

連 絡 先：第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会事務局

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野

大会準備委員長補佐：佐藤 秀夫

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

E-mail：hideo-sato@ms.kagoshima-u.ac.jp

TEL：099-275-6262 FAX：099-275-6268

## 第55回日本小児歯科学会大会

大会期日 平成29年5月25日（木）・26日（金）

会 場 西日本総合展示場新館

大会長 牧 憲司

担 当 九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野

## 第26回国際小児歯科学会大会

IAPD2017

October, 4-7, 2017 Santiago, Chile

## 近畿地方会県別会員数（H28年8月現在）

	正会員	衛生士会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋 賀	37	2	0	39	1	11	2	1
京 都	58	1	0	59	1	13	1	3
大 阪	317	19	2	338	14	84	11	21
兵 庫	158	21	1	180	3	43	5	2
奈 良	34	1	0	35	1	6	2	3
和 歌 山	15	2	0	17	0	4	0	0
合 計	619	46	3	668	20	161	21	30

## 平成28年度 こども健康週間県別代表者

府 県 名	代表者名
大 阪 府	梶本祐一郎 先生
兵 庫 県	春木 隆伸 先生
京 都 府	笹井 浩司 先生
奈 良 県	池尾元三朗 先生
和 歌 山 県	金尾 好章 先生
滋 賀 県	池本 博之 先生

《日本小児歯科学会近畿地方会》

平成28・29年度役員名簿

会 長	有田 憲司
副 会 長	仲野 和彦 ・ 池尾元三朗
会 計	野村 良太 ・ 佐々木秀和
庶 務	春木 隆伸 ・ 岡本 篤剛
監 事	樂木 正実 ・ 佐伯 克彦
顧 問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大 学	大川 玲奈 ・ 原田 京子 ・ 阿部 洋子 ・ 園本 美恵
滋 賀 県	池本 博之 ・ 中林あつ子
京 都 府	大原 裕 ・ 笹井 浩司 ・ 中村 弘之 ・ 仲岡 佳彦
奈 良 県	中川 佳昭 ・ 林 昌司
和歌山県	金尾 好章 ・ 田岡 郁敏
大 阪 府	浅田 匡彦 ・ 吾妻 昭夫 ・ 野々村榮二 ・ 大橋 健治 ・ 大西 智之 大道 士郎 ・ 川口 護 ・ 桑原 康生 ・ 佐々木有美 ・ 副島 之彦 中原 弘美 ・ 松尾 博之
兵 庫 県	石井 信行 ・ 金澤 真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 坂田 滋 ・ 竹内 幸雄 徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋 隆 ・ 嘉藤 幹夫

●編集後記

今年南米初のオリンピックがリオデジャネイロで開催され、日本選手も期待以上の活躍をして私たちに大きな感動を与えてくれました。4年に一度のオリンピックにピークを合わせてくる選手の力はもちろんですが、競泳のように次の世代を育成することに成功している競技団体は、今回のリオだけでなく2012年のロンドン、2008年の北京以前から継続して有力選手を輩出しています。次世代の育成こそが、その競技のレベルを上げていると言っても過言ではありません。

ふと自分自身に立ち返ると専門医指導医として次世代の育成ができていないか反省至極です。もうすでに次世代のエースたちは2020年の東京を見据えてトレーニングを始めています。4年後の2020年。小児歯科を取り巻く環境は今よりも良くなっているのでしょうか？ (N・I)

\*今回、会報発行にお手伝い頂いた方々\*

有田 憲司先生・仲野 和彦先生・野村 良太先生  
石井 信行先生・園本 美恵先生・田辺 健一郎様  
春木 隆伸

《住所変更（会誌送付先の変更）方法》

新・旧住所を事務局あて書面（FAXもしくはE-mail）にて下記までご連絡下さい。

一般財団法人 口腔保健協会内 日本小児歯科学会（事務局）

FAX：03（3947）8341

E-mail：gakkai38@kokuhoken.or.jp

日本小児歯科学会近畿地方会 HP

<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

平成28年9月5日 印刷

平成28年9月10日 発行

発行者 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会  
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷（株）